

平成17年度都市再生プロジェクト推進調査(発表資料)

「みなとの特性を活かした
市民参加による交流空間創出調査」
(その2)

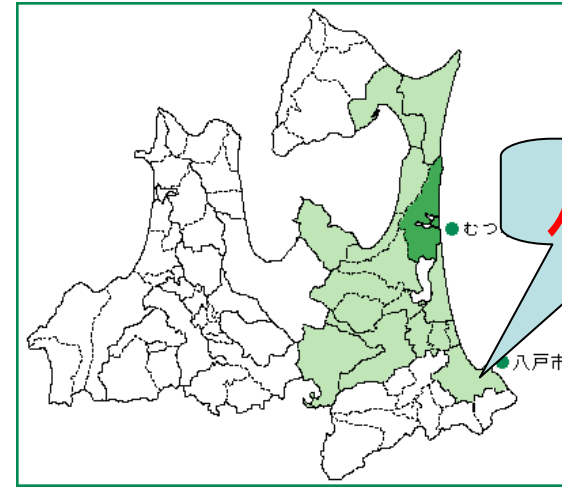
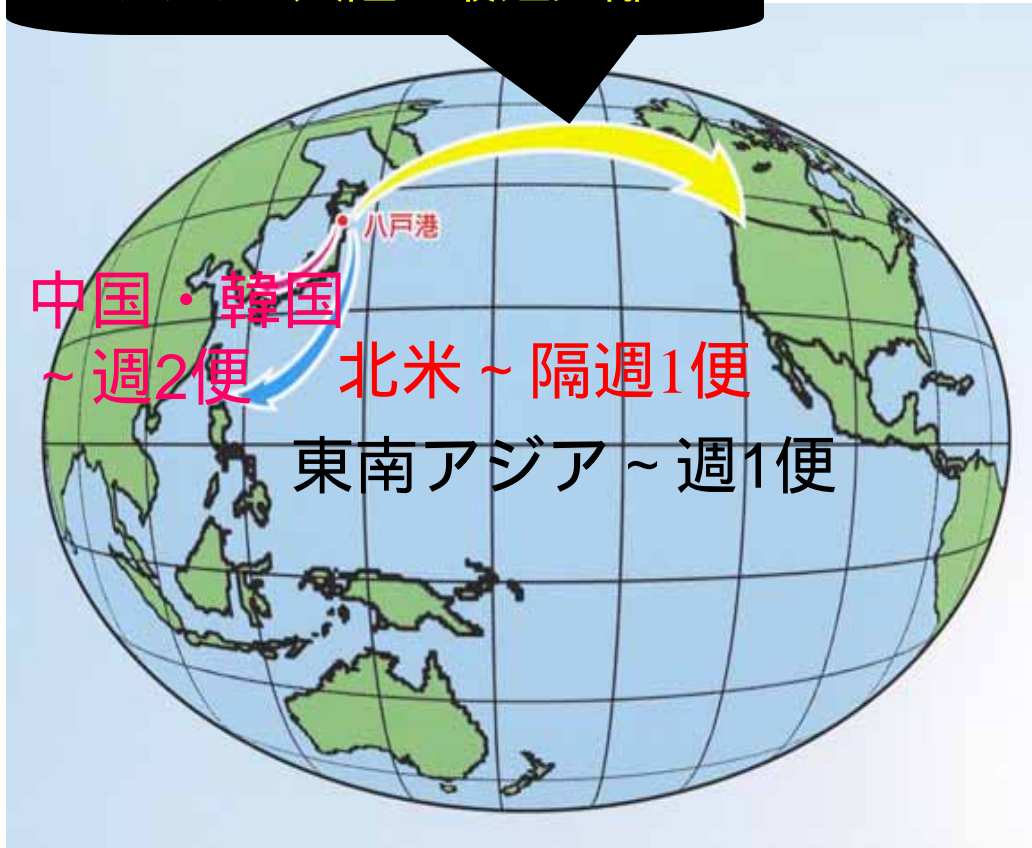


平成17年12月24日

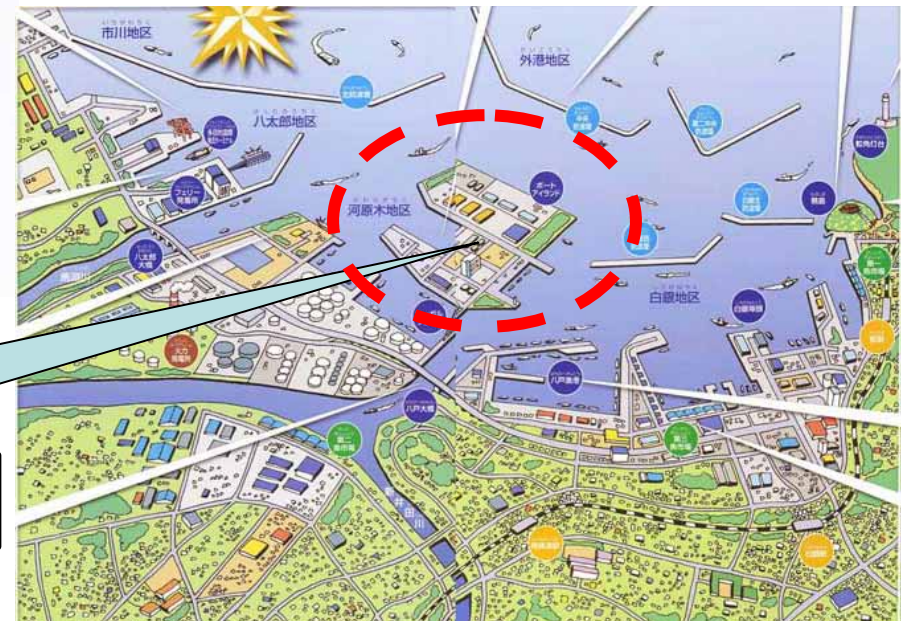
平成8年7月26日設立
(株)八戸港貿易センター

北半球物流軸のクロスポイント(八戸港)

アメリカ大陸と最短距離



八戸港ポートアイランド(全体計画85ha)



八戸港貿易センター

モデル調査の体制

賑（連携なき 協調）

「おんでやぁんせ」
港
にぎわい

モデル地区での実証実験実施の具体策・方法を決定
運営部分にかかる事業内容を検討

事業実施連携の総括

関係機関との調整：国土交通省東北地方整備局八戸港湾・空港整備事務所
青森県八戸港管理所 八戸海上保安部・八戸警察署・八戸消防署

コンセプト：メインフィールド 八戸港貿易センタービル ポートアイランド

市民参画・民間活力導入による港湾再生（未利用地・低利用施設の活性化）

地域コミュニティ放送・市民（NPO）・行政・民間事業者との協働のモデル構築

八戸港貿易センター
意見交換会

未利用施設・低利用施設・有効活用
みなと再生・市民参加・人的交流
地域活性化(土地の売却)
ポートアイランド
八戸港貿易センター認知度

賑

Be FM：社会実験の 事前告知、実況中継

Acty：イルミネーション点灯式等演出

海の八戸NPO：国際見本市開催

はちのへエコのみアカデミー：BDF発電、CO₂削減

シーフードシティ研究所：海産物 食の提供

賑

賑

賑

八戸青年会議所：明るい豊かな社会作り

国土交通省：港湾関係パネル展
八戸港湾・空港整備事務所

八戸港ポートアイランド
35ha(85ha)

八戸港貿易センター

八 戸 港

Lighting Symphony
in 八戸ポートアイランド

ライティングシンフォニー

Lighting Symphony

in 八戸ポートアイランド

八戸ポートアイランドが優しい光に包まれる15日間

12/10sat
～12/24sat

17:00～22:00

八戸港貿易センタービルに
イルミネーション点灯

BDF(バイオディーゼル燃料)を使用した
LEDイルミネーションによる
環境配慮型イルミネーション
イルミネーションを点灯いたします。

クリスマスは八戸ポートアイランドに行こう!

12/10 Sat.
17:00～17:40

イルミネーション点灯式

「フルポート・イン・クリスマス」テーマに、船の運水式をイメージした点灯セレモニー、サンタクロースダンスやコスベルコンサート、サンタさん登場!

主催：特定非営利活動法人 ACTY

12/10 Sat.
12/11 Sun.
10:00～16:00

クリスマス国際屋市

ヨーロッパのクリスマス市(いち)をイメージした路地を再現。地元産品から輸入食材・雑貨まで国際色溢れる展開!

主催：特定非営利活動法人 ACTY / 協賛：八戸港貿易センタービル

12/10 Sat.
16:00～

レストランdeみなとシアター

クリスマスフードとともに映画を楽しもう!
みなとでシネマな時間。クリスマス気分を一足先に!

主催：特定非営利活動法人 ACTY

12/24 Sat.
13:00～17:00

バイオイルミ Night! 2005

「エコなクリスマス」をテーマに、環境に優しいエネルギーをわかりやすく紹介。BDFでイルミネーションを点灯できるほか、パネル展やエコ工作教室など、楽しいクリスマスイベント、グラントファイナーレとして花火の打ち上げ!

主催：特定非営利活動法人 ACTY / 協賛：八戸港貿易センタービル



八戸港貿易センタービル
八戸港貿易センタービル(八戸ポートアイランド)
TEL:0176-72-1609

事業主体：株式会社 八戸港貿易センター
主催：ライティングシンフォニー in 八戸ポートアイランド実行委員会
協賛：国土交通省東北地方整備局 八戸支庁 自治体協議会事務局 青森県八戸海上建設事務所 / 八戸港貿易センター / 八戸市

12月はイベント盛りだくさんの八戸ポートアイランドへ
光に包まれた15日間をお楽しみください

Lighting Symphony in 八戸ポートアイランド

12.10sat～24sat 17:00～22:00
八戸港貿易センタービルにイルミネーション点灯

主催：特定非営利活動法人 ACTY / 協賛：八戸港貿易センタービル
廃食用油から作ったBDF(バイオディーゼル燃料)を使って発電し、
イルミネーションを点灯いたします。

12.10sat 17:00～17:40
イルミネーション点灯式

主催：特定非営利活動法人 ACTY / 協賛：八戸港貿易センタービル
光の妖精たちが舞うLighting Symphony。
そんな愛の世界で、サンタクロースとダンサーズの物語がはじまります。
●自然素材による季節づくりリースのアーチ
●サンタクロースダンス(加藤舞団)
●コスベルコンサート(三浦マナー・オブ・コメディアン・クラリスと共演)

12.10sat～11sun 10:00～16:00
クリスマス国際屋市

主催：特定非営利活動法人 ACTY / 協賛：八戸港貿易センタービル
ヨーロッパのクリスマス市(いち)をイメージした路地を再現。
可動式屋台小屋が並び、輸入食材・雑貨から地元産品まで国際色溢れる市場が広がります。
●クリスマスジョッキコンサート
12月11日(日)貿易センタービル1Fにて、13:00/15:00に開催します。
●クリスマス ウルトラスターライブ大会
12月10日(土)・11日(日)10:00開演。14:00閉演。当日は観覧無料。チケットは無料です。

12.10sat 16:00～(観覧上乗19:00～)
レストランdeみなとシアター

主催：特定非営利活動法人 ACTY / 協賛：八戸港貿易センタービル
貿易センタービルにシネマが登場!
一定早いクリスマス気分に取りながらおたのしみいただけます。
●観覧上乗(16:00)の観覧券を販売いたします。定額約100円
●クリスマスフード・コンサート同時開催

12.24sat 13:00～17:00
バイオイルミNight! 2005

主催：特定非営利活動法人 ACTY / 協賛：八戸港貿易センタービル
「エコなクリスマス」をテーマに、環境に優しいエネルギーをわかりやすく紹介。BDFでイルミネーションを点灯できるほか、パネル展やエコ工作教室など、楽しいクリスマスイベント、グラントファイナーレとして花火の打ち上げ!
●エコ工作教室 ●廃食用油・燃料の紹介 ●エコ工作教室
●パネル展 ●バイオイルミNight! 2005
●自然素材による季節づくりリースのアーチ ●サンタクロースダンス(加藤舞団) ●コスベルコンサート(三浦マナー・オブ・コメディアン・クラリスと共演)
●BDF製作の過程やパネル展示とビデオ上映でわかりやすく紹介
●廃食用油を使ったキャンドル作り体験、エコ工作教室開催
●地元産品や輸入食材・雑貨などを展示してグリーンなエネルギー自産自給を紹介
●廃食用油を使ったサンタクロースや、シープを使った愛かいねの動物などの飾りつけ、観覧
●スターライブイベント
●グラントファイナーレ・クリスマスのお楽しみ、打ち上げ花火が待っています。

特定非営利活動法人 ACTY
76-5899 協賛時間 12:00～17:00

(TEL) 八戸港貿易センタービル TEL:0176-72-1609



準備



本番直前



三沢米軍基地教会のゴスペル



南郷 Jazz



国際昼市開会式



国際昼市出品（日本）



貿易センタービル2階



子ども音楽会

環境・エネルギー産業創造特区



廃食用油活用

新エネルギー（分散電源）



太陽光発電

エコ教室

中学生シンポ

地域活性化（4校105名）



八戸市の産業政策への取り組み

あおりエコタウン

八戸ゼロエミッションシステム

H.14.12 経産・環境省承認

東京鐵鋼

廃自動車・廃家電・医療廃棄物

廃プラ・金属屑等のリサイクル

大太平洋金属

鉍石屑・ニッケルダスト

一般廃棄物(実験)・ホタテ貝殻(実験)

等のリサイクル

八戸セメント
(内陸)

石炭灰・汚泥・
肉骨粉

三菱製紙

紙製造残滓・廃タイヤ
リサイクル発電

八戸製錬

飛灰・亜鉛・鉛等の
リサイクル

棒鋼・カーボン
亜鉛製品・鉛製品
完全無害化スラグ

リサイクルポートの指定

(静脈物流システムへの参
画)

H.15.4

廃自動車・廃家電
亜鉛屑・鉛屑
ニッケルダスト

施策推進中

洋上風力発電H.17

世界初のマイクログリッド実証

太陽光発電
天然ガス
洋上風力発電
バイオマス発電
自営線

企業によるリサイクル事業の活性化
関連企業の立地促進
新産業創出と雇用機会の拡大

環境・エネルギー産業創造特区

(構造改革特区)H.15.5

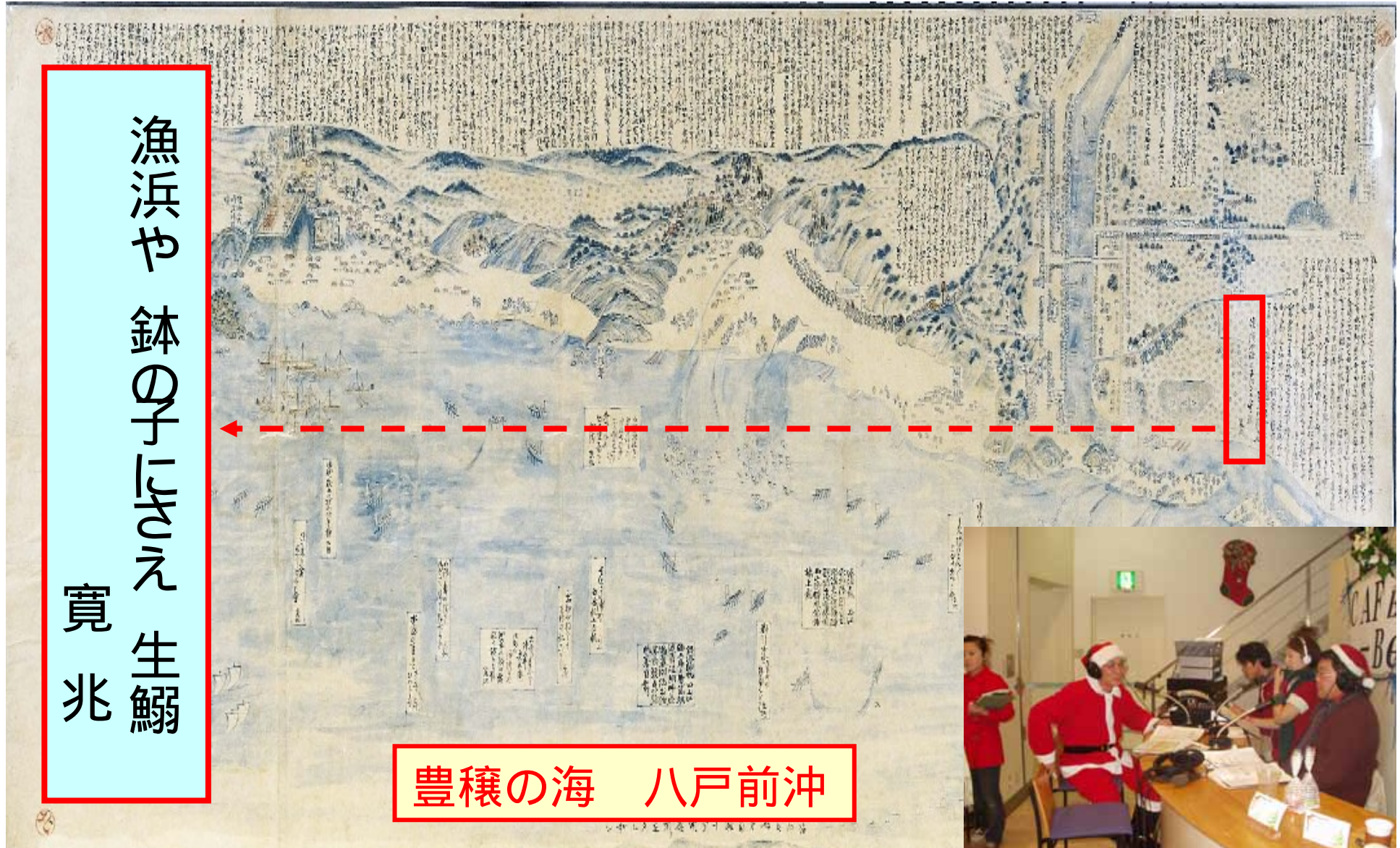
新エネルギー

(分散電源)

地域コミュニティ放送活用 社会実験現場から実況中継

八戸浦之図嘉永年間（1848～1854）

三峰館 寛兆筆〔1778～1855 75歳〕八戸生



漁浜や 鉢の子にええ
寛兆 生鰯

豊穡の海 八戸前沖

八戸港 築港の歴史

明治14年測量(1881)

天然記念物(ウミネコ繁殖地)
蕪島

三戸郡鮫港實測圖

原敬



ムルデル



有栖川熾人親王



皇女 和宮

大久保利通



明治天皇



大隈重信





結

論

臨海部の低未利用用地、低利用施設の有効活用によるみなと再生(港湾再生)

市民参加によるみなとの人的交流促進と地域経済活性化
社会実験を踏まえたポートアイランドの売却促進
八戸港貿易センター及びポートアイランドの認知度上

開催時期：(市民参加・活性化)

長い冬に突入し、家にこもりがちになる市民を喜ばせた。

アンケート：イベントの定着を希望

調査の趣旨・目的：(モデル調査の告知)

商工界の重鎮、市・県会議員が放送を聞いて来場、詳細説明を求められる。港湾再生への波及効果につながった。

今後の対応：(モデル調査を契機として)

整備されたFAZ施設を可能な限り地域の資産として活用・イベントの継続



イルミネーション点灯

ハマでクリスマス



「ライティングシンフォニー」のポスター

あすから八戸・ポートアイランド

屋台小屋など多彩に

八戸市の八戸港ポートアイランドで、十日から二十四日まで、廃食用油からつくったバイオディーゼル燃料を使ったイルミネーション点灯などの多彩なイベント「ライティングシンフォニー」が行われる。

同イベントは、国の全国都市再生モデル調査事業として八戸港貿易センターが受託。港の特性を生かした市民参加による交流空間づくりを目指し、地元の特産非営利活

動法人などでつくる実行委員会が主催する。イルミネーションは、十日から二十四日まで（時間は午後五～十時）同貿易センターのビル外壁を彩る。初日の十日は点灯式を行い、ゴスペルコンサートや映画上映会、クリスマスフード、ホットワインの販売を行う。

このほか、十、十一日は、「クリスマス屋市」と銘打ち、ヨーロッパのクリスマス市（いち）をイメージした屋台小屋が並び、輸入食材や雑貨、地元の特産品などを販売。最終日の二十四日は、ジャズ演奏などのステージイベントのほか、廃食

油を使ったキャンドル作り教室、打ち上げ花火などを行う。

問い合わせは、八戸港

貿易センター（電話078②15005）へ。

事前の取材記事

廃食油で作ったバイオ・ディーゼル燃料 で発電した イルミネーション

「八戸港貿易センタービル」

クリスマスへ光と歌の催し

廃食油使った
光のカーテン

八戸ポートアイランド

八戸市の人工島「八戸ポートアイランド」の八戸港貿易センタービルが、廃食油でつくったバイオ・ディーゼル燃料で発電したイルミネーションで飾られている。24日まで彩られ、周囲ではクリスマスイベントも行われている。

「ライティング・シンフォニー・イン・八戸ポートアイランド」と題して、第三セクターの貿易センターや市内のNPO「アクティ」、



八戸、市職員の団体「デミー」が企画した。「はちのへエコのみアカ」クリスマスイブの24日は、

廃食油でキャンドルをつくる催しがある。

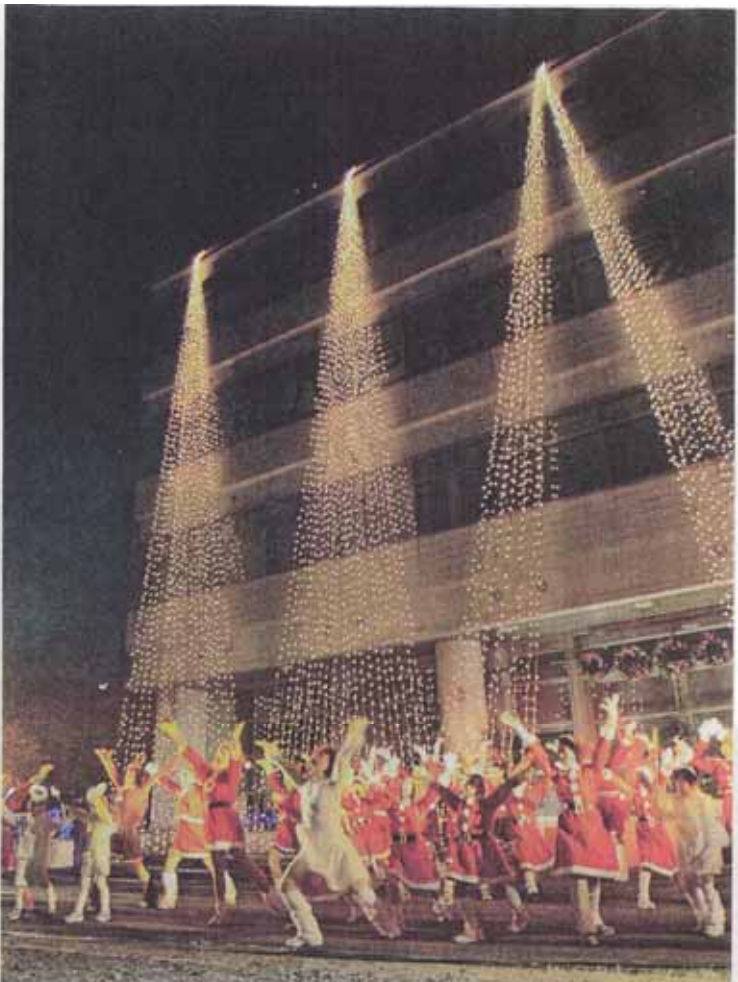
イルミネーション点灯の初日となった10日夕は、小雪が舞う中、特設ステージで市民の有志約40人によるサンタクロース・ダンスⅡ写真Ⅱや、三沢市の米軍基地内の教会に通う人たち約30人によるゴスペルコンサートもあった。

“光るツリー”

みなと飾る

八戸ポートアイランド

八戸港貿易センター



“光るツリー”みなと飾る

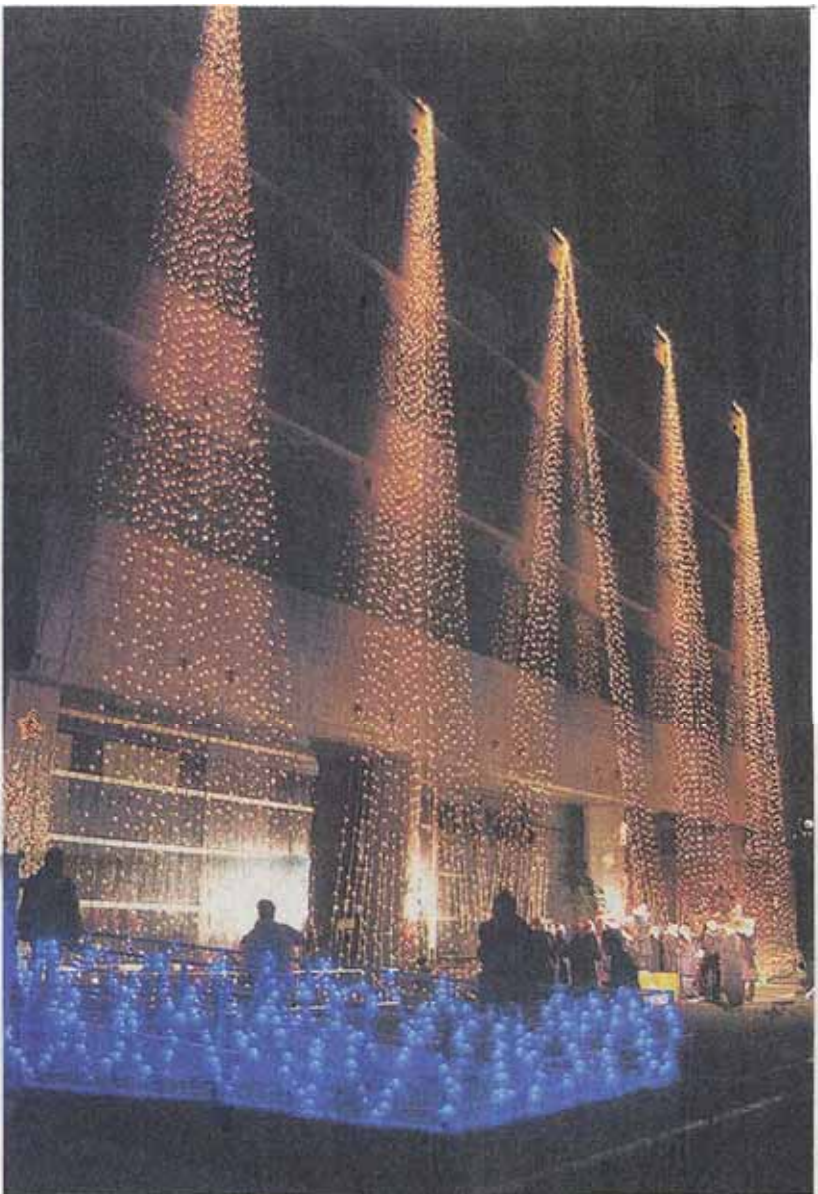
八戸市の八戸港貿易センタービルに飾りつけられたイルミネーションが十日点灯し、ポートアイランド一帯に幻想的な世界を創り出している。高さ約二十メートルのビルなどの特性を生かしながら、一面を彩る電飾は、さまざまな市民の空間創出を調査する目的で、同センターが初めて企画した。

八戸・ポートアイランド

参加者のカウントダウンで約二万個の電球に明かりが入ると、辺りからイルミネーションの光が溢れ出す。ポートアイランド一帯に幻想的な世界を醸し出すイルミネーションだ。

光のカーテン

八戸ポーターアイランドイベント



八戸港貿易センタービル外壁を幻想的に彩るイルミネーション

光のカーテン

八戸港ポーター
アイランド

八戸市の八戸港ポーターで盛り上げる「ライティアイランドをクリスマス・ソングシンフォニー」が十月まで多彩なイベント。日夕、開幕し、八戸港賣た。

午後五時から行われたイルミネーション点灯式には寒風の中、市民ら約二百人が集まり、全員でカウントダウン。ポーターアイランドの中央で輝く光のカーテンに、子どもたちは「わあ、きれい」と歓声を上げた。

メインのイルミネーションは通常の電飾だが、会場の一角には廃食用油からつくったバイオディーゼル燃料（BDF）で発電した青色のイルミネーションも設けられ、幻想的な雰囲気演出していた。

イルミネーション点灯はイベント最終日の二十四日まで、毎日午後五時から同十時まで行われる。



生演奏を披露するMJ5のメンバー

来場者がジャズ 生演奏を楽しむ

八戸、環境を
意識した催しも

「バイオイルMini
g ht!二〇〇五」が二十
四日、八戸市ポートアイ
ランドの八戸港貿易セン

タービルで開かれ、来場者がジャズライブや環境に関するイベントを楽しんだ。

クリスマスイブを楽しんでもらおうと市の職員で構成する自主研究グループ「はちのへエコのみアカデミー」が主催した。市民の環境への意識を高める狙いもある。昨年続き、二回目。

十日から二十四日まで、市民の家庭から集めた使用済みの天ぷら油（廃食油）を原料にして作ったBDF（バイオディーゼルフェューエル）という燃料で、ビルの外壁をイルミネーションで飾った。

イベントでは、ソーラー自動車や使用済みの油を利用してキャンドルを作るコーナーを設置した。

また、同市のヤマハ音楽教室の生徒とジャズバンド「MJ5」が生演奏を披露。最後には、花火を打ち上げた。

八戸市内の中学生「本気」シンポ

中心街にテーマパークを

「食」新メニュー、寒大根の街…

大胆アイデア続出

八戸市内の中学生が新たな食の発想や中心商店街の活性化策などについて意見を交わす「中学生の本気」シンポジウムが二十三日、八戸港貿易センタービルで開かれた。▽大規模テーマパークの建設▽寒大根の街構想—といった大胆なアイデアをはじめ、八戸の新名物として、せんべい汁ラーメン、イカの炊き込みご飯などが挙がった。子供たちがレシピを考案したイカ肉まんじゅうやイカ餃子(ぎょーさ)の試食会も行われ、「これはイケる—」と好評だった。



参加者の人気を集めた新名物の試食会

シンポジウムは、八戸青年会議所(石橋裕彦理事長)が地域活性化事業の一環として開催。次世代を担う中学生に、柔軟な発想で八戸市の将来像を考えてもらうと同時に、市民が協働してまちづくりを進める必要性を意識させるのを狙いに、今年初めて実施した。奏、下長、北稜、白銀南の四中学校から計百十人が参加した。十人程度のグループに分かれた生徒たちは、まちづくりに取り組む「先輩」の指導を受けながら、与えられ

「まちへの提言」の三つのテーマに沿って話し合った。意見発表では、「地域活性化」について「中心街に遊ぶ場所が少ない」と指摘。テーマパークや観光施設、大型ショッピングセンターの建設などを訴えた。「食」では、サケはのこ飯、イカ墨ちくわ、そば粉アイスなど多種多様なメニューが続出。インターネットによる情報発信、有名人を起用したCMなどの必要性も強調した。

「まちへの提言」に関しては、寒大根に新たなネーミングを付け、さまざまな料理法とともに、全国に売り出すユニークなアイデアも出された。中学生の夢あふれる意見に触れ、石橋理事長は「まちづくりに若い世代の意見も取り込まなければならぬ。出された意見をさらに掘り下げ、可能なものは具現化を模索していく」と約束した。

八戸港クイズに 家族連れら挑戦

ポートアイランドで
海の八戸NPO

特定非営利活動法人
(NPO法人)「海の八
戸NPO」(中村覚理事
長)はこのほど、クイズ
大会「ウルトラ『シー』
クイズ」を八戸市のポ
ートアイランドで開き、
家族連れらが八戸港にち
なんだクイズに挑戦し
た。

大会は、八戸港貿易セ
ンターにイルミネーショ
ンをともし「ライティン
グ・シンフォニー」の関
連イベント。同NPOが

八戸港にちなんだ〇×クイズに
挑戦した参加者



クリスマス国際昼市、ジ
ヤズコンサートとともに

開催した。

サンタク
ローズ姿の
副島勝男・
同NPO事
務局長が
「シーガル
ブリッジの
高さは四十
五メートル
である」八戸港
からは米国
向けにナガ
イモが百ト
輸出されて
いる」など
の「〇×ク
イズ」を出

題した。

子供たちにはいくつか
難問もあったが、八戸港
について楽しく知識を深
めた。正解者には一足
早いクリスマスプレゼント
として菓子や雑貨の詰
め合わせなどが贈られ
た。

地元紙「デーリー東北」 人気のコラム

天鐘

八戸ポート アイランドの夜を照らす一万個の電飾。電力源は食堂で使い古されたてんぷら油だという。地球環境に優しいきらめきに感動である▼軽油に代替すると注目のバイオディーゼル燃料（BDF）で、家庭や飲食店から出る使用済みの植物油をリサイクルしたものだ。発生する二酸化炭素は光合成で再び自然界に戻り、差し引きはゼロ。増える一方の化石燃料と違い、地球を傷めない▼八戸市是川の知的障害者授産施設「こだまの園」の入所者が丹精込めて精製した。やっかいな食廃油の再利用で軽油より排煙が少なく、地球温暖化防止、石油資源の保護、そして何より精製品が販売ルートに乗れば入所者の自立を支援で

きる▼「一挙数得」の夢の燃料である。阿部弘子園長が迷わず今春から導入した。不純物のろ過や洗浄などの工程を経て出来上がるが、すべて手作業でさじ加減が難しい。自作の燃料で初めてトラックが動いた瞬間、入所者から大歓声が上がったという▼パワーは軽油に劣らず、一リ七十五円程度と格安。だが日産五十リが限度で専用機材がなければ量産は無理だ。主に軽油と混合して使われるが、混合すると課税対象になる理不尽さを抱えている▼米国では原油高からいいことづくめのBDFがブームの兆しだという。盛岡市は既に公用車の一部で使っている。滋賀県が課税対象からの除外を求めているが、国は「うん」と言わない。京都議定書の「母国」が一体どうしたことか。地球規模で判断すれば結論は簡単に出るはずだ。

八戸ポートアイランドの1万個の電飾

授産施設製造 自立 石油資源の保護 地球温暖化防止

一 挙 数 得 の 夢 の 燃 料

株式会社 八戸貿易センター 御中

要 望 書

八戸ポートアイランドの八戸市民及び
三八地域県民による活用（案）の願
いについて

特定非営利活動法人 海の八戸 NPO 理事長 中村 覺

三八地域県産材で家を建てる会 会長 田中 裕

八戸屋形船部会 会長 三戸英雄

M J 5 代表 大江亮一

シャーク号(有)観光漁業食品 代表取締役 河村憲一

海の八戸ボートクラブ 会長 葛西慶信

八戸外洋帆走倶楽部 会長 副島一則

八戸小型船舶教習所 代表 尾崎幸弘

海の朝市実行会 会長 工藤吉信

「要 望 書」

社会実験後 提出された
ポートアイランド等の活用の